

[illegible]

総合計画／実施計画書 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局

部局名

保健福祉部

課室名

健康福祉課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	現在日本では100人に1人が不妊治療のひとつである体外受精から生まれており、治療を受ける夫婦も年々増加している。体外受精や顕微授精の治療費は1回につき30万～50万かかるため、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る必要がある。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	「不妊治療」という特性から、事業性質上行政が実施していくことが望ましい。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	申請前及び申請時に保健師が面接対応することで、申請者の相談にのるとともにメンタル面での支援を行っている。不妊治療については、経済的負担を軽減するための助成しか手段としてないと考えため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	現在事業実施3年目であるが、新規の相談者が増えてきている。なお、助成を受けた人の出生率の上昇は、その年度の申請者の状況により異なるものとする。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	申請者の増にあわせた予算の増が求められるが、その状況によって変わるため、現状維持とする。				
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	現在と同様に保健師による対応が必須であり、現状維持が望ましい。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	県及び他市町村の事業内容の動向を注視し、今後は助成額や申請期間等の見直しが必要と思われる。				
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。			
部 長		課 長		班 長	
				担当者	
				内線 2127 E-mail @bungo-ohno.jp	